

## 後援会副会長挨拶

### 「挑戦する学生を応援したい」

皆さんこんにちは。後援会副会長の増本です。

保証人の皆様、大学関係者の皆様、いつも後援会活動をご支援・ご協力くださり心より感謝申し上げます。

「東京都市大学後援会」は、学生の「充実した大学生活」を支援するため「本当に学生たちの支援になっているのか」を常に考え、数多くの施策を我々の責務において実施判断する、そんな役割を担っていますが、「充実した大学生活を送ってほしい」という願いの中で、特に「自らチャレンジする」意志を支援したいと考えています。

野城学長が先日、ご挨拶の中で卒業生について語っておられました。

ある卒業生の方が「社会に出ても日々学び」だと仰られていたそうです。周りに流されるのではなく、日々学び、挑戦してゆくことの大切さ。

今はまだそれに気づかなくとも、学生のうちにその「チャレンジ」体験をすることが、いつか社会にでたときの「気付き」に、そして「確信」に繋がるのではないかと思います。

「チャレンジ」した結果はもちろん成功だけではなく、失敗する事もあります。

私事ですが会社（極めて零細ですが）を22期、御多分に洩れず成功とその何倍も多くの失敗を繰り返しながら経営しています。

それでも、失敗する度に省み、より良い施策を実施しようと仲間とアイデアを練り、再び挑戦する。そんな経験が会社を続けられた大きな要因だと確信しています。

丁度、11月の後援会幹事会は世田谷祭の初日でした。雨の中でしたが、印象的だったのは学生たちの楽しそうな姿。雨の中でも「世田谷祭」というイベントの成功のために、自ら考え行動する。このイベントに関わる事で、多かれ少なかれ成功も失敗もあったと思いますが、これこそ貴重な「チャレンジ」体験だったのではと思います。

学生達には、成功体験とともに、失敗しても自分は何度でも立ち上げられるんだと、自信を持てる・得られる様な体験をしてほしい。失敗しても「再び挑戦する勇氣」を失わない、そんな成長を願ってやみません。

率先して自ら行動する「チャレンジする」学生達を積極的に支援してゆく。これからも後援会はそんな存在を目指し、活動して参ります。

保証人の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東京都市大学 後援会 副会長 **増本 修二**

